

2024年取組一覧(欧州①)

アイスランド	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産品の魅力発信
ウズベキスタン	日本産水産品の魅力発信レセプション
ウズベキスタン	日本・ウズベキスタン農業・食品産業発展フォーラムinタシケント
オーストリア	日本産海産物の魅力発信イベント
オーストリア	大阪・関西万博レセプション
オーストリア（ウィーン代表部）	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本水産品の魅力発信
オランダ	日本産水産物＆酒類の当地レセプションにおけるPR
スイス	日スイス国交樹立160周年記念レセプション
スペイン	美食の都サン・セバスティアンにおける日本産水産品PR
スペイン（バルセロナ）	スマート・シティ・エキスポ参加者間のネットワーキングイベント
チェコ	令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションでの日本食の魅力発信
ハンガリー	天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産品、日本企業製品の複合的PR
ハンガリー	ハンガリーメディア関係者に対する日本酒PR

2024年取組一覧(欧州②)

フィンランド	天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産物（ホタテ）のPR
フィンランド	スーパーマーケットでのホタテ等日本食品のプロモーション
ベルギー	Bon Appétit JAPON 2024（日本産食品魅力発信レセプション）
ポーランド	日本水産品促進イベントJapanese Seafood Bliss
ボスニア・ヘルツェゴビナ	天皇誕生日祝賀レセプションにおける水産品PR
ポルトガル	天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産品PR
ルクセンブルク	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本PR
ルクセンブルク	日本産水産物及び日本酒のプロモーション
ロシア	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産品PR

【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産品の魅力発信(アイスランド)

開催日： 令和6年2月22日

場 所： グランドホテルレイキャビク

主催：在アイスランド大使館

協力／参加企業・INN NES食品卸売会社

在アイスランド大使館

【概要】

- 天皇誕生日祝賀レセプションにあわせて、アイスランドで入手可能な日本産のホタテとハマチを提供した。
- レセプションには、ギルバドゥティル財務大臣、イライザ大統領夫人をはじめ、レストラン関係者等132名が出席し、当地の嗜好に合った味付けとして、ホタテはバター醤油焼き、ハマチは照り焼きにて提供した。
- ホタテは、ポータブル電気コンロを利用し、招待客の目の前で焼くライブクッキングを行った効果もあって、特に人気を博した。また、広報バナーも設置し、視覚的な訴求を行った。
- 有名レストランオーナーで、当地レストラン産業のキーパーソンが試食したところ、メニューへの採用を積極的に検討するとのことで、日本産水産物を効果的にPRすることができた。今後の当地における販路拡大の礎をつくることができた。
- ホタテ・ハマチのほか、日本酒のプロモーションも同時に実施したところ、多くの招待客が試飲し、好意的な感想を寄せていた。



【農林水産物・食品の広報】日本産水産品の魅力発信レセプション(ウズベキスタン)

開催日： 令和6年3月16日

場 所： 平山郁夫国際文化キャラバンサライ

主 催： 大使館

在ウズベキスタン大使館

参加者の様子



【概要】

- 3月16日、当地で日本語を学習している学生を対象としたかるた大会を実施し、日本語及び日本文化に関心のある学生、引率の教師、観覧の学生及び参加者家族等90名を招待する水産品の魅力発信レセプションを実施。
- かるた大会の取材に訪れたプレスが、日本産水産品のレセプションについても取材し、日本産水産品及び日本食についての報道が行われたほか、参加者に対し日本産水産品の魅力をアピールすることができた。

国営テレビ局「Dunyo」による報道



【農林水産物・食品の広報】

日本・ウズベキスタン農業・食品産業発展フォーラムinタシケント(ウズベキスタン)

開催日： 令和6年6月24日
場 所： インターナショナルホテルタシケント
主 催： 日本国農林水産省
共 催： ウズベキスタン共和国農業省

【概要】

日本国農林水産省は、令和6年6月23日～6月25日にかけて、6年ぶりとなる食料・農業分野の官民ミッションをウズベキスタン共和国に派遣し、6月24日にタシケント市インターナショナルホテルにおいて下記イベントを開催した。

- ① 農業・食品分野のビジネス連携を促進する「農業・食品産業発展フォーラム」
- ② 食を通じた二国間の連携強化に向けた「日本食材を用いたレセプション」

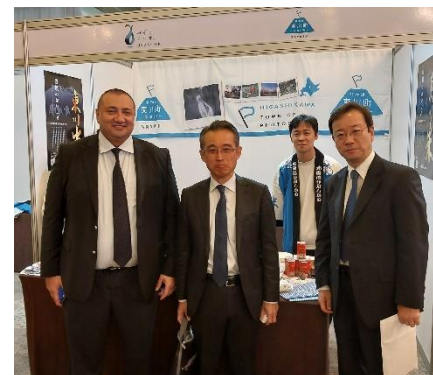
本イベントの開催は、二国間における経済交流のポテンシャルを可視化させるとともに、農業・食品分野における協力の裾野を大きく拡大させた。

イベント当日は、ウズベキスタンの農業・食品関係者が会場に多数集まり、日本の農業技術や日本食への関心を高める機会となった。

参加した日本企業は、ウズベキスタン政府又は企業関係者との間で、今後のビジネス進出に関するMOU(覚書)の協議や情報交換を行った。

また、本イベントの開催を受け、同年の秋に、日本の食品企業関係者がウズベキスタンに来訪し、食品市場の進出に向け、視察や調査を行っており、持続的な経済交流につながった。

在ウズベキスタン日本国大使館



【農林水産物・食品の広報】 日本産海産物の魅力発信イベント(オーストリア)

開催日: 令和6年3月6日

場 所: ウィーン市内レストラン

主催(共催): 大使館

【概要】

- 日本に縁のあるオーストリア政府、当地外交団関係者を招き、ウィーン市内の日本食レストランにおいて、日本産食品の魅力を発信するためのレセプションを開催した。今回、同レストランに協力を要請し、海産物はすべて日本産(ホタテ、ハマチ、赤甘鯛、穴子)のものを調達した。
- 当日は、大使のスピーチにて日本産食品の魅力をアピールしたほか、当館インスタグラムにて、様々な種類の魚介類を使用した料理を紹介した。
- オーストリア政府関係者、当地外交団関係者30名が参加し、魚介を使用した和食への理解を深める機会となった。また、参加者からは、今後も同様のイベントを開催してほしいと要望する声が多数挙げられた。

在オーストリア大使館



【農林水産物・食品の広報】

大阪・関西万博レセプション(オーストリア)

開催日: 令和7年3月24日

場 所: 在オーストリア大使公邸

主催: 在オーストリア大使館

協力／参加企業: 奥経済省、奥連邦産業院、酒の場、日本屋、ワイナリーPotzinger、
ウィーン少年少女合唱団

在オーストリア大使館

【概要】

- 大使主催の下、大使公邸にて奥政府係者、各州の代表、経済、文化、学術関係者等、大阪・関西万博の参加に関与してきた主要な関係者を招いてレセプションを開催。
- レセプションにはプラスニク万博担当政府代表(元外相)、ハットマンズドルファー経済大臣、コッハー前経済大臣、マラー奥連邦産業院総裁、シェラク奥日友好議連会長等が参加。
- 万博事務局がオーストリアパビリオンに関するプレゼンテーションを実施。
- オーストリアのナショナル・デーに大阪で合唱公演を行うウィーン少年少女合唱団が合唱を披露。
- 公邸料理人により、たこ焼き等の大阪縁の食べ物を始めとした日本食を提供。
- 現地で日本酒や日本食材の販売を行う日本人(ひとりは農林水産省から「日本食普及の親善大使」に任命されている)の協力も得て、万博や関西地域に縁のある日本酒を提供。
- ワイナリーの協力を得て、オーストリア・パビリオンで提供されるオーストリア産の白ワインを提供。



【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本水産品の魅力発信（オーストリア）

開催日： 令和6年2月29日

場 所： インターコンチネンタルホテル

主催(共催): 在オーストリア大使館 在ウィーン日本政府代表部の共催

【概要】

- 2月29日(木)、在ウィーン日本政府代表部は、在オーストリア大使館と共催した天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、日本産ホタテ、ブリ、マダイを大使公邸料理人が調理したフィンガーフード4品を提供するブースを出展し、その魅力について発信。
- レセプションには、オーストリアの政財界要人、在ウィーン国際機関、各国政府代表部の要人をはじめ、企業、文化・学術、プレスの関係者等、約350名が参加した。
- 日本代表部のブースを訪れた参加者は、食材の説明紙をじっくり読み、高級水産物と認識した上で、堪能している様子であった。約320皿用意したが、好評のため、30分も経たない内に品切れとなった。
- 2月上旬にはジェトロが、水産品に関する現地商談会と試食会をオーストリア・ウィーン市内のホテルで開催し、中・東欧所在の企業が参加した。本レセプションにおいても、日本産水産品などの新規販路開拓先としての中東欧地域の高いポテンシャルを実感するとともに、需要を喚起する機会となった。
- 現地Diplomacy & Commerce紙に「レセプションでは楽しい雰囲気の中、日本の特産品が提供された」と報道された(報道ぶり右参照)。

在ウィーン代表部



EVENTS Birthday Reception in Honor of His Majesty the Emperor of Japan

March 1, 2024 / Diplomacy and Commerce / No Comments



On the occasion of the birthday of His Majesty the Emperor of Japan, the Ambassador of Japan, H.E. Ryuta Mizuuchi, and Dr. Akemi Mizuuchi, as well as the Permanent Representative of Japan to the International Organizations, H.E. Ambassador Atsushi Kaifu, hosted the reception.

【農林水産物・食品の広報】

日本産水産物&酒類の当地レセプションにおけるPR(オランダ)

在オランダ大使館

(1)天皇誕生日祝賀レセプション

開催日: 令和6年2月21日

場 所: 在オランダ大使公邸

主催: 大使館

(2)大阪・関西万博レセプション

開催日: 令和6年3月7日

場 所: 在オランダ大使公邸

主催: 大使館

【概要】

- 2024年2月21日に開催した天皇誕生日祝賀レセプション(National Day Reception)において、200名を超えるオランダ政府関係者、官民要人、各国大使、国際機関関係者等に日本産水産物の魅力を発信。ホタテ、ぶり等の寿司や、北海道産ホタテをふんだんに活用した料理を提供するとともに、有田焼と併せ、佐賀県産の日本酒をPR。
- また、同年3月7日には、大阪・関西万博に向けた機運醸成のため、万博レセプションを開催。オランダの万博関係者約100名に対し、大阪・関西地域の料理の紹介を行うとともに、日本産のワイン、ウイスキー、焼酎等も併せてPR。
- 日本産水産物及び酒類の品質の高さや、欧州料理にも活用できる汎用性を、オランダ国内の官民要人に広くPRする絶好の機会となった。

(1)天皇誕生日祝賀レセプション



日本産水産物PR
(寿司ブース)



日本産ホタテ創作料理



日本酒PR

(2)大阪・関西万博レセプション



大阪・関西地域料理
(ホタテの串揚げ等)



日本産酒類PR



日本産ウイスキー・焼酎

学校法人村川学園とのコラボ
(創作レシピの提供)



日本産ワイン

【農林水産物・食品の広報】 日スイス国交樹立160周年記念レセプション(スイス)

在スイス大使館

開催日: 令和6年2月6日

場 所: ベルン市内ホテル(ホテルシュバイツァーホフ)

主催: 大使館

協力/経産省、福島県の酒類生産者(haccoba, Inc.及び株式会社ホップジャパン)

【概要】

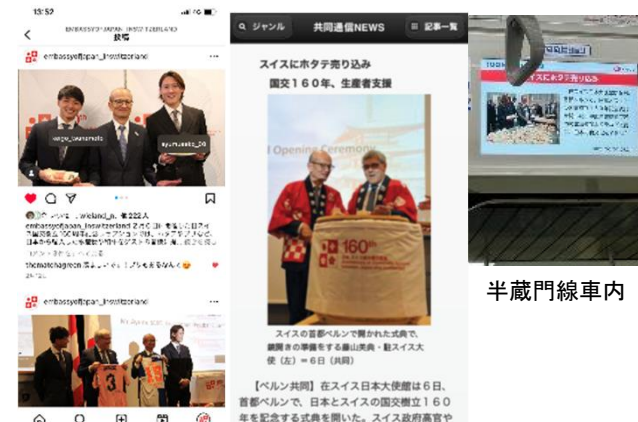
- 日スイス国交樹立160周年記念日となる2月6日、首都ベルンにおいて、スイス政府高官らを招いたレセプションを開催。ヌスバウマー・スイス国民議会議長、ヒラヤマ教育・科学・イノベーション庁長官、ホーファー農業庁長官をはじめ、政府・企業・学術・文化関係者、日本食関係事業者、メディア関係者ら約150名が出席。
- スイスのサッカースーパーリーグで活躍する2名の日本人選手(常本佳吾選手・瀬古歩夢選手)が登壇し、メディアからの取材に応じるとともに会場に花を添えた。
- 経産省福島復興推進グループ・福島広報戦略・風評被害対応室の協力により、福島県から酒類生産者が来場し、ゲストに福島県産ビール等の試飲を提供した。
- スイス国内の食品バイヤーが多数来場し、レセプションの前後に日系輸出事業者とスイス国内のポテンシャルバイヤーを繋げることができた。(特に、本レセプションに関係者が来場した当地高級デパートチェーンGLOBUSは、本レセプション当日から3週間、当館及びJETROジュネーブとの協力によりホタテ等の試食会を含む日本食品フェアをスイス国内全9店舗で開催しており、これらとあわせ今後の販路拡大も期待される。)
- 事後には、共同通信による記事が多数キャリーされ、本邦各紙をはじめ様々な媒体で報道がなされたほか、東京メトロ内の電子記事でも配信された。また、日本の雑誌社GEN DE ARTが3ページにわたる特集記事を組み、国交樹立160周年と日本産食品の魅力に関して報道。併せて、当館HP及びインスタグラムでも事後広報を行った。
- 参加者からは、新鮮な日本産水産物や和牛に対する非常に好評な感想が多く寄せられた。(コメント例: スイスのスーパーで買えるホタテより、日本産ホタテの方が肉厚で美味しい・この和牛がどこで買えるのか知りたい・福島県産ビールがライトで飲みやすかった) また、日スイス国交樹立160周年という節目にこのようなレセプションに参加できたことを光栄に思うといったコメントが多数寄せられた。



スイス政府高官らとともに鏡開き



ホタテ寿司やブリの刺身を手にする常本佳吾選手、瀬古歩夢選手と大使(中央)



当館インスタ

共同通信

半蔵門線車内

【農林水産物・食品の広報】美食の都サン・セバスティアンにおける日本産水産品PR(スペイン)

開催日： 令和6年3月26日(火)

場 所： サン・セバスティアン近郊ワイナリー兼レストラン「HIKA Bodega」

主 催： 在スペイン日本国大使館

協力／参加企業：IsseJAPAN、Tokyo-ya、JAPONGourmet

在スペイン大使館

【概要】

- 美食の都として有名なサン・セバスティアンにおいて、有名レストランのシェフなどの食関係者約50人を集め、日本産水産品及び日本酒のPRを実施。
- 北海道産の冷凍ホタテ(Tokyo-ya)、冷蔵空輸した愛媛県産のマダイ及びブリ(IsseJAPAN)を使用し、HIKA Bodegaのロベルト・ルイス氏によるバスク料理(伝統的な炭火焼き)とKai sushi barのセバスティアン・ピンチェイラ氏による日本料理(寿司、刺身)を紹介。
- 料理に合わせて日本酒と地元ワインのチャコリを提供し、それぞれのマリアージュを提供。
- IsseJAPANのロマン・ドヨット社長から活締め技術の紹介、セバスティアンシェフによる寿司のデモンストレーション、JAPONGourmetシャビエル社長から日本酒の説明を行った。
- イベント後、水産物、日本酒ともにレストランとの商談につながった。



【意見交換会／日本企業・大阪・関西万博PR／日本の農林水産物・食品の広報】
スマート・シティ・エキスポ参加者間のネットワーキングイベント(スペイン・バルセロナ)

在バルセロナ総領事館

開催日: 令和6年11月5日

場 所: Smart City Expo World Congress2024会場ジャパン・パビリオン内

開催形態: 在バルセロナ総領事館、Smart City Institute-Japanの共催

協力: 環境省、大阪市及び神戸市



【概要】

- 世界最大級のスマートシティ・イベント(130カ国から2万5千人以上が参加。約1100団体が出展。)の機会を捉え、ジャパン・パビリオン内にてEXPOに参加の日本及びスペイン・海外の企業・自治体・関連団体の間のネットワーキング・イベントを開催し、100名以上が参加。
- 四方明子・総領事からは、日本とスペイン、カタルーニャ州、バルセロナ市等世界の各都市とのスマートシティ分野での交流・協力の重要性及び日本の官民が有する技術の持続可能な社会への貢献をアピール。大阪・関西万博の資料配付やVTRの放映も行った。
- 松澤裕・環境省地球環境審議官、西山忠邦・大阪市副市長及び黒田慶子・神戸市副市長もスピーチを行い、全体として、①ジャパン・パビリオンの出展、②スマートシティ分野のオール・ジャパンでの取り組み、③大阪・関西万博を効果的な形でアピールできた。
- また、日本各地の日本酒の魅力を、世界各国のEXPO参加者に効果的な形でPRできた。

【農林水産物・食品の広報】 令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションでの日本食の魅力発信(チェコ)

在チェコ大使館

開催日: 令和6年2月26日
場 所: プラハマリオットホテル
主 催: 在チェコ大使館

【概要】

在チェコ大使館は、令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、当地日系企業及びジェトロと協力し、日本産食品や日本酒の魅力を紹介。

〈日本食プロモーション〉

大使館ブースでは、公邸料理人が腕を振るい、北海道紋別産ホタテを使用した海鮮丼やマグロの握り寿司を提供。ジェトロブースでは、当地レストランとの連携のもと、日本産ホタテのバター焼き、日本産ハマチの照り焼きなどの日本食を提供した。

〈日本酒プロモーション〉

大使館、ジェトロ、当地日系企業により、合計14銘柄の日本酒を提供。全国様々な酒蔵の多様な種類の日本酒を発信し、その魅力について紹介した。

式典には、ペカロヴァー・アダモヴァー下院議長などチェコを代表する政治家や政府関係者を含む約350名のゲストが出席。日本食、日本酒を提供するブースには、開始直後から大勢のゲストが詰めかけ、日本食・日本酒への理解を深めていただく絶好の機会となった。



【日本企業の広報】【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産品、日本企業製品の複合的PR（ハンガリー）

開催日： 令和2年2月21日

場 所： マリオット・ブダペストホテル

主 催： 在ハンガリー大使館

協力／参加企業： トヨタ、スズキ、ブリヂストン、日清、郵船ロジスティクス、アサヒビール、
チョーヤ、当地日本産酒類取り扱い業者、当地日本茶葉販売店、栃木県

在ハンガリー大使館

【概要】

- ・ 首相府長官を主賓に迎え、ハンガリー政府関係者や外交団等約400名が参加した天皇誕生日レセプションにおいて、日本産米、日本産酒類、日本茶、日本企業のブースを設置して試食・試飲を提供、企業PR等を行った。
- ・ 本使公邸料理人による手巻き寿司（農水省購送による日本産米を使用）を提供し、パンフレットや日本産米の特徴等を説明したボードによりPR。
- ・ 日本酒に加え、当地酒取り扱い業者の協力により梅酒、ウィスキー、日本産ジン及びゆずりキュールの提供の他、煎茶及び深蒸し茶（温冷）の試飲PR。
- ・ トヨタ、スズキ、ブリヂストン、日清、郵船ロジスティクス、アサヒビールは各社の製品・サービスをPR。
- ・ マジャル・ネムゼド、ブダペスト・タイムズ、ディプロマシー&トレード等、多数の現地紙で報道された。



【日本茶ブースでの試飲】



【ディプロマシー&トレードの報道】



【日本企業ブース】

【農林水産物・食品の広報】

ハンガリーメディア関係者に対する日本酒PR(ハンガリー)

開催日: 令和6年7月15日

場 所: 在ハンガリー大使公邸

主催: 大使館

協力／参加企業・自治体: 出羽桜酒造、World Sake Imports

在ハンガリー大使館

【概要】

- 7月15日、営業のためにハンガリーを訪問した出羽桜酒造の仲野取締役夫妻、同社のディストリビューター、当地のメディア関係者を大使公邸に招待し、日本酒のPRのため、出羽桜酒造の日本酒とともに夕食を提供。
- 公邸料理人より、出羽桜酒造から提供された各銘柄に合わせた料理を提供。また、出羽桜酒造が直接、各銘柄の特徴について説明。
- 食事中、日本酒に関する話題について適宜意見交換や質疑応答を実施し、当地の関係者に日本酒を知ってもらう絶好の機会となった。また、ハンガリー人や当地在住外国人等、日本人以外の日本酒に対する好みや反応を知ることができた。
- 出羽桜酒造からは、「皆様とのお話でハンガリーでの日本酒の販路拡大についてのヒントを頂くことができ、素晴らしいお料理とのペアリングを通して、新たな日本酒の魅力を発見することができた」とのコメントがあった。



会食の様子



参加者集合写真



ペアリング

【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産物（ホタテ）のPR （フィンランド）

開催日： 令和6年3月7日

場 所： 在フィンランド日本国大使公邸

主 催： 在フィンランド日本国大使館

協 力／JETROロンドン、国土交通省北海道開発局、北海道ぎょれん

在フィンランド日本国大使館

【概要】

- 在フィンランド日本国大使公邸で開催した「天皇誕生日祝賀レセプション」において、日本産水産物（ホタテ）のPRを実施。
- 北海道産ホタテを寿司で200貫、刺身で200切れ（計400食）を提供。ホタテの提供コーナーには、同レセプションにおいて過去に例がないほどの長蛇の列ができ、日本産水産物（ホタテ）への関心の高さが窺えた。
- レセプションには主賓のユッシ・ハッラ＝アホ国会議長はじめ国会議員、政府高官、外交団ら216名が出席。出席者からは北海道産ホタテの質の高さに対して多くの称賛の声があがった。
- 広報媒体として、当館で作成したロールアップ式バナー2台の展示、JETROロンドンから提供のあった動画3本を大型スクリーンで上映し、国土交通省北海道開発局から「Charm of Hokkaido food」のパンフレット10部と、北海道ぎょれん（北海道開発局経由）から「Hokkaido Scallops」及び「Scallops」のパンフレット各100部を入手し展示・配布、JETROロンドン事務所から応援で1名が駆けつけ、大規模なPRを実施した。また、事後当館ホームページやSNSでも紹介した。



【農林水産物・食品の広報】

スーパーマーケットでのホタテ等日本食品のプロモーション (フィンランド)

開催日: 令和6年3月8日～9日

場 所: Kシティーマーケット・ヤルヴェンパー店

主 催: JETROロンドン

後 援: 在フィンランド日本国大使館

協 力: 国土交通省北海道開発局、北海道ぎょれん

在フィンランド日本国大使館

- 日本産食品や寿司の販売を積極的に行い、フィンランドにおける日本の食文化発信拠点ともいえる「Kシティーマーケット・ヤルヴェンパー店」において、ホタテ等日本食品のプロモーションイベントを、JETROロンドン事務所主催、大使館後援で開催。
- 日本産水産物の知名度向上と質の高さをアピールするため、1,150食分のホタテをフィンランド人の好みに合わせ「バター焼き」で試食提供し、2日間、計8時間の開催時間で用意したホタテ全てが提供された。
- 初めてホタテを食べる方が多く、おそろおそろホタテを手に取り、慣れない食感を指摘する方もいたが、同時にその豊かな食感と甘さを美味しいと評価する声も多く聞かれた。
- 試食ブース横にある鮮魚コーナーで Kシティーマーケット・ヤルヴェンパー店が販売する日本産ホタテを試食後に購入する来店客の姿もみられた。



【農林水産物・食品の広報】

Bon Appétit JAPON 2024(日本産食品魅力発信レセプション)(ベルギー)

開催日: 令和6年3月11日

場 所: ルネッサンスホテル・ブリュッセル

主催: EU代表部、在ベルギー大使館

協力／参加企業・自治体: 復興庁、Enishi by Toshiro、Hokkai Suisan、J-Next、Nonbe Daigaku、Yamayu Santatsu、Yasushi Sasaki、Yoka Tomo、Eden、Kanpai、Kuratje、Oh! My Sake、Uijin Yuzu Blond、Kitoku Shinryo/Foodex、JNTO、Tagawa/ULB

EU代表部／在ベルギー大使館



【概要】

- 令和5年8月にEUの日本産食品に対する輸入規制が完全撤廃され、その後、ALPS処理水の放出による近隣諸国の日本産水産物の禁輸措置の導入があったことを踏まえ、ホタテ等の日本産水産物、福島県、岩手県、宮城県等の東北産品に特に焦点を当て、復興庁とも協力をし、東日本大震災から13年目となる3月11日にこれらの日本産食品の魅力発信をするレセプションを開催。
- 当日は、当地の食関係事業者等への日本産食品の魅力の発信を特に重視し、当地食関連事業者を中心に招待した結果、250名を超える関係者が参加。
- レセプションの結果については、インフルエンサーも活用し、広報を行った結果、ベルギー大使館等のXでの配信は1万ビューを超えるとともに、当地食関連インフルエンサーLoic氏が作成したレセプションの動画は1.6万ビュー、北海道産ホタテを活用したレシピ動画は3.1万ビューを超えるなど、全体で7万ビューを超える結果となった。
- 当日の様子は日本でも日本経済新聞に「日本産ホタテ、EUに売り込み 中国禁輸受け販路開拓」、共同通信に「EUは昨年8月、東京電力福島第1原発事故後に日本産食品に課した輸入規制を撤廃した。だが処理水の海洋放出に反発する中国が日本産水産物の輸入を止めており、食品の安全性を訴える狙いもある。」などと報道された。
- 参加者からも「全体として非常に満足した。Bon Appétit JAPON 2024によって、日本の食材や料理に対する理解がたいへん深まった。」(欧州機関／ベルギー政府関係者・ブリュッセル)といった声や「日本産ホタテをはじめ、日本産食材の美味しさ、安全さを食品関係者に非常によくPRできた。」(参加シェフ)といった声が寄せられた。

【農林水産物・食品の広報】 日本水産品促進イベント Japanese Seafood Bliss (ポーランド)

開催日: 令和6年3月15日

場 所: ワルシャワ Hala Koszyki

主催: 在ポーランド日本大使館

協力: Warszawski Sen (ワルシャワの有名レストラン)、RINGO

【概要】

日本産水産品の輸出拡大のための魅力発信イベントとして、ワルシャワの高級人気レストランであるゲスラー・レストラン(ポーランドで最も有名なレストラン)の協力を得て、政府要人、企業幹部、レストラン関係者、食インフルエンサーを招待して、日本水産品・日本食事情についての講演を行うとともに、当地日本人・ポーランド人シェフによる日本水産品(マグロ・穴子、ホタテ、鯛など)を使った料理でもてなした。

- ポーランド外務副大臣、ポーランド郵政公社社長、ポーランド経団連会長らポーランドの地元名士らが出席。
- 同イベントには、多数のメディア・インフルエンサーが参加し、同イベントは、彼らのSNSによって発信され、ポーランドで広く拡散された。
- ポーランド国営放送(TVP3)で後日同イベントの様子が公開。
- 同イベントには、大使公邸料理人、当地の日本食親善大使、ゲスラー料理長らが料理を提供し、提供した料理についての解説も詳細に行った。

SNS発信例

PIOTR GÓRECKI-Pyza made In Poland

<https://www.facebook.com/share/p/FRM6QFXdgWy3pvuJ/?mibextid=WC7FNe>

MARTA MICHALSKA- marta.mi <https://www.instagram.com/reel/C4tcK-Uo8Kz/?igsh=cXJ5anR2bDB3NWc5>

MARTA ZIARNO-Feed Me Better <https://www.facebook.com/share/p/MNonHnChMFrPoJ4d/?mibextid=WC7FNe>

イベントの様子

<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=SAgjOQy6SDI&cbrd=1>

<http://rentonmedia.myqnapcloud.com:1987/share.cgi?ssid=e371b23d514b45d5b53d1b576cbf5cd3>

在ポーランド大使館



【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける水産品PR(ボスニア・ヘルツェゴビナ)

在ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館

開催日: 令和6年2月26日

場 所: ホテル・ヨーロッパ

主催(共催): 在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

【概要】

- ◆ 令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催にあわせて、日本産水産品(ホタテ、かつお)を提供した。
- ◆ ボスニア・ヘルツェゴビナの閣僚らも参加した本レセプションには、300名を超えるゲストが参加。会場内に日本食専用コーナー及び寿司屋台を設置し、日本食、日本産水産品のPRを実施した。
- ◆ 日本産水産品は大変好評で、すぐに売り切れとなった。参加者からは、寿司や刺身を食べたことはあったが、これほど美味しいとは知らなかった等の声が聞かれた。
- ◆ 本レセプションには、当地主要メディア、一流ホテル関係者、農産品の輸入を担当する当国通商・経済関係省関係者も参加しており、今後の日本産水産品の利用や輸入の拡大を期待できる機会となった。



【農林水産物・食品の広報】 天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産品PR

開催日： 令和6年2月22日

場 所： 在ポルトガル大使公邸

主催(共催): 大使館

協力/レストラン By Koji

在ポルトガル大使館



【概要】

天皇誕生日祝賀レセプションに合わせて、和食及び日本産食品の魅力を発信。公邸料理人とリスボンで日本食普及親善大使がシェフを務めるレストランBy Kojiが、ハマチやホタテ等の日本産水産物を使用した料理を提供した。日本産水産物を引き立てるため、米、和牛、加工品等他の日本産品も活用し、酒ソムリエによる日本酒テイastingコーナーも設置した。また、お土産に日本産の日本茶ティーバッグを配布した。

閣僚・政府高官、企業関係者、文化関係者、報道関係者、外交団を含む327名の参加者からは絶賛の声が聞かれた。

【農林水産物・食品の広報】 【日本企業の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本PR(ルクセンブルク)

在ルクセンブルク大使館

開催日: 令和6年2月29日

場 所: 在ルクセンブルク大使公邸

主 催: 大使館

協 力: ANAブリュッセル支店、サクラ・ヴォヤージュ(当地日系旅行代理店)、
JALパリ営業所、日本政府観光局(JNTO)パリ事務所、バリユース、awa酒
協会、グローバル・リンク(当地日本酒輸入業者)、センス・オブ・ジャパン
(当地日本酒輸入業者)

【概要】

- 天皇誕生日祝賀レセプションの機会を活用し、日本産水産物を活用した和食の提供、日本酒試飲ブースの設置及び日本企業等ブースの設置を実施。当日は、政府・国民議会関係者、経済界関係者、教育・文化関係者等計146名が出席。
- 日本産水産物としては、マグロ(寿司、ちらし寿司、カルパッチョ)、北海道産ホタテ(寿司、ちらし寿司、カルパッチョ)、宮崎県産ブリ(ちらし寿司、カルパッチョ)、福島県産あおさのり(酢の物)を提供。
- 日本酒については、ウェルカム・ドリンクとしてawa酒協会によって提供されたスパークリング日本酒を提供。また、会場内に日本酒試飲コーナーを設置し、酒ソムリエ資格を有する当館現地職員が、各社から提供された日本酒を紹介・広報。招待客には提供された日本酒リスト及び2024年のユネスコ無形文化遺産登録に向け「伝統的酒造り」を提案中である旨を紹介するメッセージカードを配布。
- 大使スピーチの中で、当地進出日系企業の活動等について説明したほか、各協力企業が会場内ブースにおいて航空便や旅行プラン、日本の伝統工芸品等に関する情報提供及び広報を実施。
- 現地クロニクル紙により、当日は日本産水産物や日本酒が提供された他、多数の企業が出展し情報発信を行った旨が企業名とともに報道された(報道ぶり右参照)。



【農林水産物・食品の広報】 日本産水産物及び日本酒のプロモーション(ルクセンブルク)

開催日: 令和6年2月19日

場 所: 在ルクセンブルク大使公邸

主 催: 大使館

協 力: センス・オブ・ジャパン社(日本酒の輸入業者)

在ルクセンブルク大使館

【概要】

- 日本産食品の魅力・安全性のPRが期待される人脈として当国政府関係者・外交団・インフルエンサー等、日本産食品の輸出促進やホタテ等の代替販路開拓に繋がる人脈として当地和洋食レストランや食品業者等を招待し、日本産水産物及び日本酒のペアリングに焦点を当てた試飲・試飲会を実施(37名出席)。
- 日本産水産物としては、マグロ(刺身、寿司、カルパッチョ)、北海道産ホタテ(刺身、寿司、カルパッチョ、味噌漬け焼き)、宮城県産ブリ(刺身、カルパッチョ)、宮城県産カツオ(タタキ)、福島県産あおさのり(酢の物、味噌汁)を提供。
- 日本酒については、当地日本酒輸入業者(日系企業)のセンス・オブ・ジャパン社の協力を得て、料理に合わせた日本酒を厳選して提供し、参加者に対し日本産水産物等の食品とのペアリングや日本酒の分類等について説明。
- 出席者からは、今回初めて口にした食材もあり貴重な体験となった(冷凍食品配送業者)、発酵技術の違いで日本酒の味わいや香りにこれほどの差が出ることを知って興味深かった(農業省食品等輸入規制担当者)等の反応があった。
- 現地クロニクル紙により、イベントの概要のほか、EUにおいて日本産食品等輸入規制阻止が完全に撤廃された旨や、「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組について報道された(報道ぶり右参照)。



天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産品PR（ロシア・モスクワ）

開催日： 令和2年2月13日
場 所： 在ロシア大使館
主 催： 在ロシア大使館

在ロシア大使館

【イベント概要】

ロシア政府関係者、企業関係者、外交団等761名が参加した天皇誕生日レセプションで、お菓子などの日本産食品、日本の酒、ウィスキー、クラフトビールを、現地取扱企業や地方自治体の協力により、PRブースを設置して紹介し、試食や試飲を提供。

【日本食品の紹介】

北海道東川町から、松岡町長、樽井JAひがしかわ組合長、ジェトロ北海道らが参加。地域団体商標である「東川米」のPRブースを出展し、おむすび職員として知られる川原氏によるおにぎりづくりの実演、試食を行った。

三井物産・スターゼンが、昨年ロシア向けに認定された輸出施設から出荷した鹿児島県産の和牛を紹介するPRブースを出展し、ローストビーフの試食を提供した。

この他、日本産の菓子、ウィスキー、ジン、地ビールを紹介するPRブースを出展し、試飲、試食を提供した。

